

# がっこう 学校だより

へんしゅうぶれんらくさき  
\*編集部連絡先\*

〒257-0025 はだのしおちあい  
秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>



## 災害に備えて

いそぎき むつみ  
磯崎 睦美

9月1日は「防災の日」、この日に落合校舎、末広校舎ではシェイクアウト訓練を行いました。「緊急地震速報」の放送を聞いて机の下に頭を入れたり、防災頭巾で頭を守ったりして、自分の身を守る安全行動を取る訓練を行いました。9月4日には、末広校舎で避難訓練を行いました。今回は、末広小学校と日程を調整し、グラウンドと一緒に避難することを計画していましたが、新型コロナウイルスのため、末広小との合同での避難はできませんでした。来年度は、避難訓練、引き取り訓練について日程等を調整し、一緒に実施できたらと考えています。

落合校舎では、例年ですと、避難訓練の際に水消火器による消火訓練や煙体験を実施していました。コロナの影響で避難訓練も縮小しての実施となり、今年度はできませんでした。また、引き取り訓練も実施できませんでしたので、教員で引き取りの流れを確認しました。

最近では、風水害による災害が増えています。本校でも、情報を収集し、早めの対応をとっていきたくと考えています。ご家庭においても公民館への避難や自宅の2階への避難などどうするのか、ご家族でもご検討ください。災害に備えての場合や発災時には、引き取りをご家庭にお願いすることとなりますので、よろしくお願いします。



おちあいうしゅ じどうはんばいき せつち  
落合校舎に自動販売機が設置されました！  
今後、買い物学習に利用することができます。  
また、災害時には、無料で自動販売機内の飲み物を提供できるようになりました。

## D

作業クラスでは、トマトの「リリコ」と「バケツ稲」を育てています。普段食べている野菜やお米が、どのようにして食卓に上がるのかを栽培、観察、収穫の体験を通して学んでいます。

トマトの「リリコ」は、休校期間中、教員が畑づくりと苗植えを行い、子どもたちはその動画を見ながら学習しました。みんな興味深く動画を見ていました。リリコの苗が50cm程に成長した頃、学校の授業も再開し、当番で観察を行いました。気温、苗の高さ、実の数を記入し、絵や写真も載せた観察シートは、廊下に掲示し、みんなでリリコの成長を確認できるようにしました。どの子もトマトが赤くなるのを心待ちにしていました。夏休み前には、ついに赤く色づき始め、今日現在で6本の苗から51個のトマトを収穫することができました。

「バケツ稲」の学習もリリコと同様に行っています。観察日記には、「ふし自にひげみたいなのが出てきた」などの変化や、「早くお米ができてほしい」などを書くことができました。成長著しく、現在、稲穂の頭が垂れてきています。スズメ対策のネットも張りました。稲刈りが楽しみです。



午後の日課も始まり、学習活動に励むG部門の様子を紹介합니다。



### ♪ 小学部低中学年(2・3年)クラス♪

図工で魚拓ならぬ『人型』をとりました！音楽が流れている間は身体を動かし、曲が止んだら「びっ！」と止まってポーズ★そのシルエットを線で残しました。いろいろな可愛いポーズはいびき祭展示でぜひご覧ください。



### ☆ 小学部高学年(5・6年)クラス☆

2学期も毎日元気いっぱい過ごしています。

図工大好き！『かき氷アート』で夏の思い出をダイナミックに描きました。

夏のイラストの上にかき氷をシャリシャリのせて、その上からカラフルな色水をかけると…じわーっと色とりどりに染まったかき氷アートの完成です♪



### ☆ 中学部 ☆

中学部は夏を遊びつくそうということで、色水を入れた水鉄砲を撃ちまくって紙を染めたり、プールにヨーヨー&魚を泳がせて釣りをしたり、色氷を使ってカーリングをしました。「冷た〜い」といながらも楽しい時間を過ごしました。



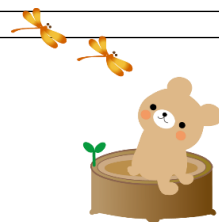
### ☆ 高等部 ☆

【美術】夏野菜をデッサンしました。

実際に野菜に触れて、形や色、光や影を観察しながらナスやトマトを描きました。(上の絵)ゴーヤーに色を付け、不織布で巻きました。(下の絵)細かな線描や大胆な色使いで素敵に完成できました。



「小さな我慢が大きな力に」



E高等部では、生徒下校後の教室や共用部分(トイレ、体育館、音楽室など)の消毒清掃作業の徹底、給食の配膳・下膳を教員が行うなどの感染症対策を毎日行っています。また、生徒一人ひとりが感染対策への意識を高められるよう、学校再開後最初の登校日で「新しい生活様式」についての説明を行いました。その後の学校生活の中でも、ソーシャルディスタンスの目安を体験的に説明したり、手洗い等を自発的に行うことができるよう繰り返し言葉かけを行ったりしてきました。

日に日に、生徒たちの会話の中にも「ソーシャルディスタンス」という言葉が聞こえてくるようになりました。特に「さすが高等部!!」と感じられる場面が給食の時間です。一人ひとりが現状を理解し、本来なら楽しい食事の時間にしたいところを我慢しながら、決められたルールを守り、食事中はどの学年も会話をすることなく過ごすことができます。

このような一人ひとりの「我慢」が「大きな力」となり、感染症を乗り越え、新たな楽しい学校生活ができあがっていくはず。これからもみんなでがんばろう!!